

令和7年6月20日



森づくり集団「^{しほり}葉」事務局通信 Vol.196号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2025.6.1 下富第3フィールド

イチヤクソウの花が咲いていました。

全草を乾燥させたものは、抗菌や利尿などの作用があるようです。

【今月のお知らせ】

令和7年度の下刈りを開始しました。

【今月の活動報告】

5月11日(日) 植生調査実施報告

下富第3&第2フィールド

参加者 / 畑、土金、加藤、坂本

活動担当者 / 吉田ひ、吉田あ

令和7年度（春季）植生調査を実施しました。

前年に引き続き春季の調査となりましたが、季節の進行が昨年より早いようでキンランなどは既に花期が終盤となっていました。

調査内容はこれまでと同様に調査対象区画に設定した対象区画の推移を確認する植生調査（コドラート）と調査対象区を踏査し、生育する種を記録するフロラ調査を実施しました。



(キンラン)

【 フロラ調査風景 】

第三フィールドの除伐や下刈りなどを実施するエリアに設定した調査対象区画Aでは、前年に引き続きアズマネザザが数多く生育しており、林床部の植生に少なからず影響を及ぼしている様子がみうけられました。前年の調査時に樹冠を覆っていたヤマザクラとコナラの枝が折れ、対象区画内にギャップが形成していましたが、今回の調査では枝が伸長し、再度日陰を作っていると同時に、林床部では数年前から増加しているアズマネザザが勢力を増加させていました。このままアズマネザザを放置すると下層植生に影響を及ぼすことが考えられますので、キンランなどの植物が消えた後に対象区画の下刈りを実施することが必要と考えます。

林冠を優占する樹木を極力伐採しない管理を実施しているエリアに設定した調査対象区画Bでは、樹高 20m以上に成長したコナラが林冠部のほとんどを覆っており亜高木層、低木層ともに大きな変化はありません。被圧された薄

暗い環境を好むキンランなどは継続して確認されています。対象区画に隣接したエリアではヒサカキやウグイスカグラなどが密集した状態となっており、周辺部において下刈り作業を実施することが必要と推察します。

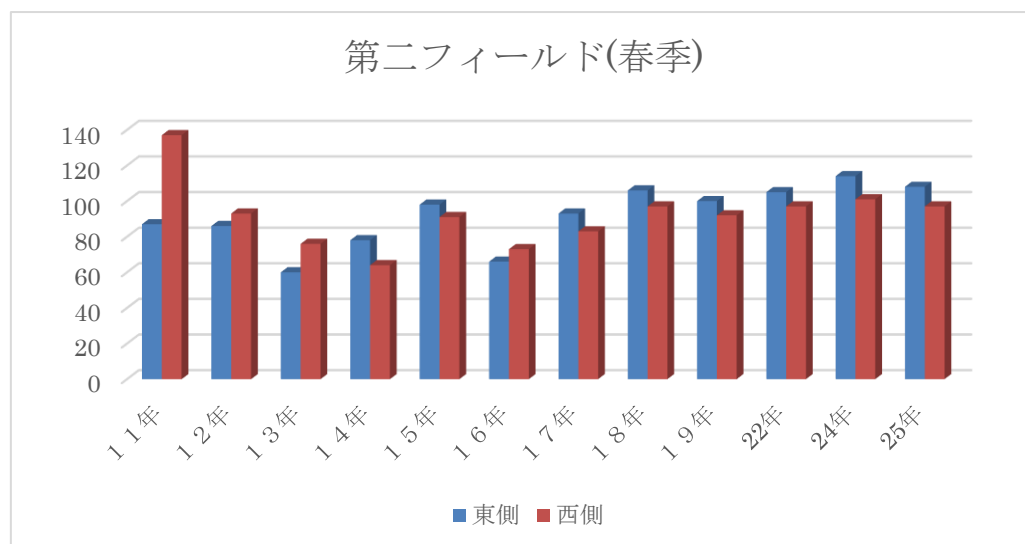
第三フィールド全体で確認した植物の種数は前回調査とほぼ同様の 98 種でした。

第二フィールド西側エリアでは、ヒゴスミレやギンランなどの絶滅危惧種を含んだ 97 種の植物を確認しました。この区画では下層植生の確認種数は前回調査と比較して大きな変化はありません。

第二フィールド東側エリアでは皆伐に近い除伐を実施した後、実生から育てたコナラの植え付けを実施し既に 18 年程が経過し、コナラ林が成立した区画では林床にキンランやギンランなどが数多く生育するようになりました。この区画では確認した植物の種数も増加傾向となっており 108 種が確認されました。この区画で昨年初めて確認したムヨウランは今回の調査では確認されませんでしたが、発生時期が今年の調査とずれていることも推察されますので、下刈り作業実施の際は、留意が必要です。

植生調査を開始した 2011 年から 2025 年までの植物調査結果を(別紙調査結果表参照)整理すると、下表のような状況となりました。

確認種数の変化は西側エリアと東側エリアでは異なった変動をしています。高木を残存した状態で下刈りを継続している西側エリアと大きな伐採を実施し、その後、コナラ林が成立している東側エリアの管理方法の違いが調査結果に表れていると考えられ、維持管理作業と樹林環境の関係性が改めて確認された調査結果となっています。



【表 1 確認種数の変遷】

植生調査では絶滅が危惧されているヒゴスミレやキンランなどの植物種が数多く確認されています。これらの植物種は樹林管理などの人為が加わるにより生育環境が整う植物種であり、これらの植物の生育環境が衰退していることにより絶滅危惧種となってしまったことを理解頂

くことが大切であると考えます。

調査結果を公表する場合は、土金代表の了承を得て下さい。

(報告 吉田ひ)

5月30日(金) ～31日(土) あおぞら共和国遠征報告

山梨県北杜市

参加者 ／ 土金

活動担当者／ 畑、小山

5月30～31日、恒例となった山梨県北杜市白州町の認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワークのレスパイト施設「あおぞら共和国」の草刈り・森作りボランティアに3名で遠征して来ました。

前日には、栞からの畑さん、土金さんを含め、数名による事前準備兼日本酒等の品評会が夜遅くまで執り行われたようです。

水曜日ごろからの天気予報は、金曜日は雨の予報、土曜も雨マークで、皆さん雨を覚悟の参加となりました。

金曜日、小山が現地に行ってみると、雨どころか晴れ間も見られる天気、皆さんすでに草刈り真っ最中でした。予報がずれて、土曜が雨で、金曜は天気が持つようなので草刈りを先にやってしまうことになったのです。



午前中、刈り払い機をフル活用して、また大型の芝刈り機もお借りし、順調に草刈りが終了しました。午後は、刈り払いより大変な集草作業です。涼しい陽気でしたが汗ばむほどの作業です。みなさん、口々に「集草の方が大変だ。」とおっしゃっていました。集めた草は、草捨て場まで運ばなくてはな

りませんが、今回新しい方式が導入されました。参加者の千葉さんの提案です。正方形のブルーシートに集めた草の載せ、数メートルブルーシートを引きずり次の草を載せます。何回か繰り返し、いっぱいになったら数人で軽トラによっこらしょと載せます。軽トラには、数枚のブルーシートに載った草を乗せることができます。なかなか効率の良い方法だったようです。



無事、1日目の作業が終わりました。例年は、その後近くの温泉に行っていましたが、今回は、「あおぞら」のお風呂を使わせていただきました。数名しか同時に入れないので、交代で入らなくてはなりませんが、車での移動がないので時間的には無駄なく入浴出来ました。

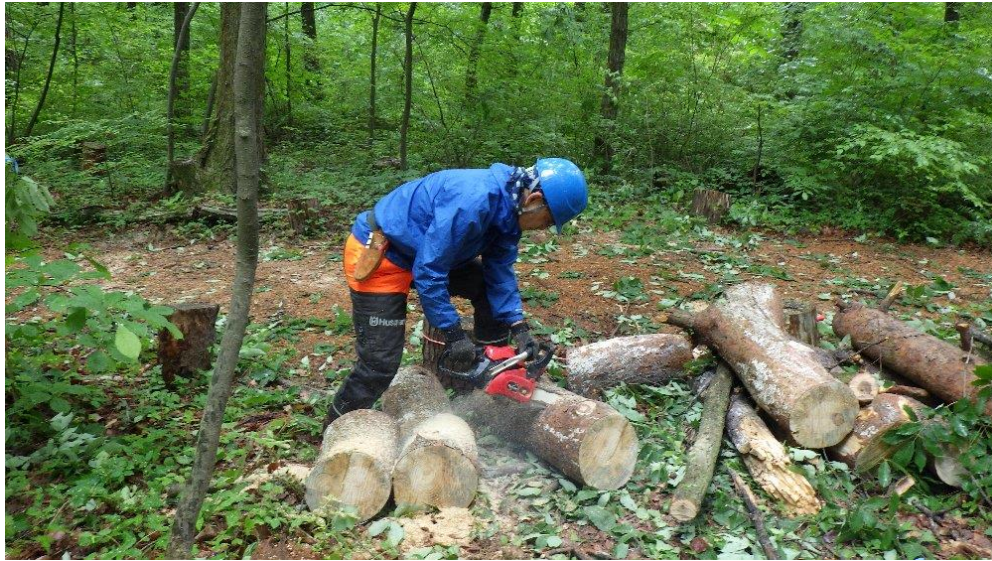
夕食後は、一番の楽しみの食事と交流の時間です。今回は、ケータリングではなく、千葉シェフのハヤシライス、サラダ、鶏のから揚げ等、土方先生に頂いた雌イノシシの肉のステーキ（雌の方が味が良いらしい、実際に非常に美味しかった）などなど。自己紹介など交流が進むと、皆さんの人間味や人生経験、あおぞらに対する思いなどが聞けて大変有意義な時間となりました。



二日目は、雨を覚悟していましたが、朝起きるとなんと「あ」「お」「ぞ」「ら」。



栗の三人と佐藤さんは、太い松の木の伐倒。他に、薪作りグループ、樹木剪定のグループ、オブジェの修復のグループに分かれて作業が始まりました。松の木の伐倒の方向に一本邪魔な木が合ったので、まずその木を佐藤さんが伐倒しました。しかし、それが掛かり木になってしまったので少々時間がかかりました。いよいよ松の木。これは畑さんが担当しました。かなり太く、チェーンソーの刃も中々進まず、苦勞しましたが、伐倒方向は狙い通り、地響きを立てて倒れました。その後、みんなで玉切りをしました。みんな、チェーンソーが切れず苦勞しました。午前中終了。



午後は、ぽつぽつと降ってきましたが、作業には問題にならない程度で助かりました。薪割り、掃除、片づけをして2時半に解散となりました。充実感も味わえ、楽しい二日間を過ごさせていただきました。

みなさま、ありがとうございました。お疲れさまでした。



追記 帰路高速を使わず、一般道で埼玉まで帰りました。山にかかった層雲が美しく、景色を堪能することができました。



6月1日(日)

下富第2フィールド

参加者 / 豊島、畑、小山

活動担当者 / 渡部、土金

第2フィールド西側の下刈りを行いました。



テーブルの西側から南に向かって刈り始めました。



ヤマユリを残しながら、



つるを取りながら、



刈り進め、



2時間弱で南の端まで刈り終わりました。



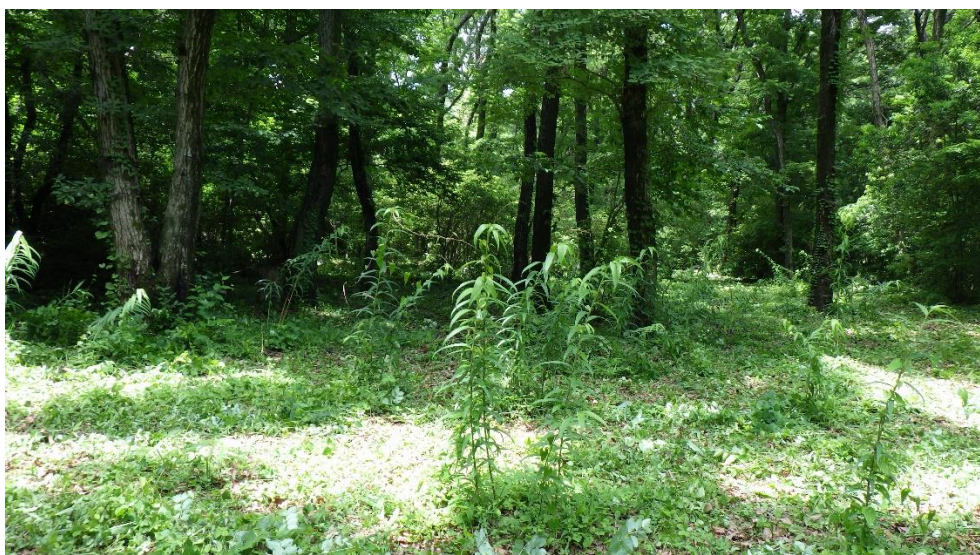
お昼はゆっくり休憩。



午後は、3月に植菌したキノコの本伏せを行い、



西側の北を刈り終わり、活動終了。



ヤマユリが増えてきたような感じがします。

(報告 土金)

【次回の活動予定】

7月6日(日)は第3及び第2フィールドで下刈りを行います。

集合は10時に第3フィールドです。

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}葉」は、毎月第1日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れを行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していますので、ご興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】



五箇山で交尾しているアカスジカメムシに出会いました。

赤と黒のはっきりした模様は警戒色で、鳥からの捕食を免れやすいようです。

土金

森づくり集団「 ^{しほり} 葉」事務局	
アドレス	tsuchikane-t@nifty.com
ホームページ	http://mori-shihori.a.la9.jp/
事務局 緑川睦子	